

市議会だより

ごとう

第42号

平成27年2月1日発行

編集・発行

五島市議会広報特別委員会

五島市福江町1番1号

TEL.0959-72-7923



五島市消防出初式が1月6日(火)に行われました。
消防団員ほか約850人による行進や放水演習が行われました。

写真は西日本新聞社提供

目次

補正予算の主な事業
一般質問
委員会審査
議決結果、賛否一覧表
市民アンケート結果
行政調査
編集後記

P2
P3
P8
P10
P11
P13
P14

12月定例会は、12月3日から12月22日までの20日間の日程で開催されました。
8日から10日には、11名の議員が一般質問を行い、11日からは、各常任委員会が開かれ、付託された議案等について審査を行い、平成26年度各会計補正予算11件、条例等33件、議会議案4件を可決し、請願3件を採択、人事案件1件を同意し、各会計決算15件を認定しました。

12月定例会の
あらまし

補正予算の主な事業

**安心こども基金保育所
緊急整備事業の追加**
1千147万2千円

恵保育園の改築事業に対して、安心こども基金事業を活用して補助を行っているが、事業実施に伴い事業費の変更が生じたため、補助金の不足額の追加計上を行う。



改築予定の恵保育園

**福江清掃センター管理
運営事業の追加**
1千122万円

福江清掃センターの二号炉の故障に伴う処理能力の低下に対応するため、運転日数を増やしてごみ

の焼却にあたっている。また、今年度の重油代の高騰及び電気料金の改定の影響もあり、当初見込んでいた燃料費及び光熱水費が不足することが見込まれるため、増額を行う。

**木材加工施設設備整備事業
の追加**
2千135万円

五島産ひのきを一次加工するのとで付加価値を付け、島外へ出荷する体制を構築するための施設整備にかかる初期費用を助成するため、六月定例会において予算を計上しているところである。

当初計画では、フリッチ材への加工だけを考えていたが、製材品への加工を行うことで、付加価値をさらに高めることが可能となり、安定した販売収入も得られることから、当初の製材機を大型のバンドソーへ変更し、離島活性化交付金を活用したうえで増額補正を行う。

水産加工施設整備事業
1億5千489万3千円

農業者、漁業者及び水産加工業者が三位一体となり、地元産品を使った商品を加工・製造、販売し、地場産品の利用拡大、流通の効率化及び雇用の創出を目的とした施設の整備を行う。

**映画「くちびるに歌を」
タイアップ事業**
430万7千円

映画「くちびるに歌を」は撮影の大部分が本市で行われ、市内小中学校や町内会など多くの関係者の協力を受けている。配給会社の



『くちびるに歌を』
2015年2月28日(出)全国ロードショー
© 2015『くちびるに歌を』製作委員会 © 2011 中田永一/小学館

好意により、二十七年二月の全国公開に合わせて本市での上映が可能となった。

また、全国上映に伴いロケ地としての本市をPRするロケ地マップ作成及び映画館でCM上映を行う。

五島市奨学基金積立事業
6千270万5千円

旧富江町の学生等に対して学資の貸与を行ってきた財団法人富江町育英会の解散に伴う残余財産については、本市への寄附として受け入れることになっている。受け入れた寄附金を今後の育英事業に活用するため、五島市奨学基金を

設立し、積み立てを行う。
なお、財団法人富江町育英会で貸し付けを行った未償還金については、五島市奨学資金貸付金として承継し、本市で償還の手続きを行う。

一般質問 市政を問う

(議員写真は西日本新聞社提供)

問 奈留島の双子水晶の保存についての考えは

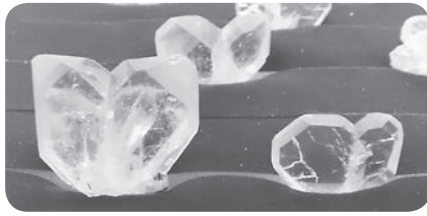
答 価値や貴重性について啓発活動を行い、多くの人の目で見守っていききたい



明石 博文 議員

質問 双子水晶は盗掘被害も発生しているが、保存についての考えは。

答弁 奈留島の双子水晶は、無色透明で、姿形が美しく価値が高いことから、市の天然記念物に指定されている。保存については、市民に価値を知ってもらい、守って



奈留島の双子水晶

いくべき本市の宝であるとの認識を深めるため、啓発活動を行い、多くの人の目で見守ることができるとい

教会群の世界遺産登録に向けた今後のスケジュールは

質問 教会群の世界遺産登録に向けた今後のスケジュール、教会守の設置状況、教会周辺の環境整備は。

答弁 今後のスケジュールについては、平成二十七年にイコモスによる現地調査が行われ、二十八年六月ごろ第四十回世界遺産委員会において、登録の可否が審議される。教会守については、訪問者のマナー監視や質問への対応等を目的として、今年度中に設置する。江上教会周辺の県道沿いの伐採については、県が通常年に一回行っているが、来年度は、臨機応変に対応することであった。江上教会周辺の休憩施設等の整備については、平成二十七年度から進めていきたい。

マグロ養殖地先のノ一瀬への灯火設置を

質問 養殖生簀とノ一瀬との距離は狭く、悪天候時及び夜間航行時に危険であるため、ノ一瀬への灯火の設置が必要と考えるが。

答弁 県及び海上保安署など関係機関に相談していききたい。

問 米価暴落対策を

答 国の動向を見たい



橋本 憲治 議員

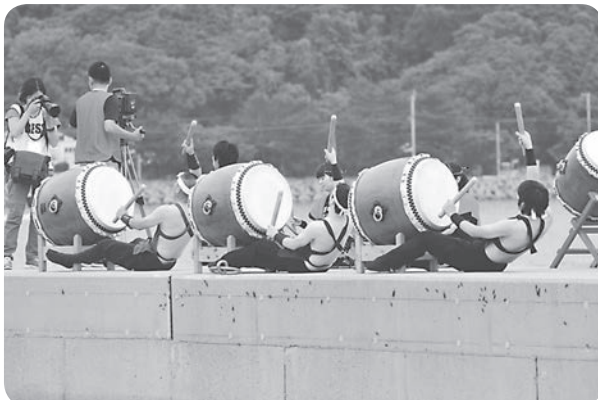
質問 米価暴落は、民間流通にある七十万トン以上の在庫米が原因。備蓄米九十一万トンの一部を飼料用に回し、年間七十七万トンの米の輸入を削減することを政府に緊急に要請すべきでは。また、農家に対して低金利の融資制度と利子補給、来年度の生産資材への助成措置を検討すべきでは。

答弁 政府が備蓄米を飼料など他用途に販売した方がいいと判断すれば、適切に処理するものと考えている。ミニマムアクセス米の輸入については、国同士の約束事であり、要請は難しいと考えている。平成二十六年産米等への対応について、今後、国や県の追加支援策が打ち出された場合、一体となつて支援していききたい。

和太鼓団体の練習場の確保を

質問 倭寇太鼓や富江バラモン太鼓などの和太鼓団体は、現在、大浜の旧清掃センター事務所で練習しているが、平成二十八年末には退去するよう求められている。練習場の確保に取り組む考えは。

答弁 まずは、活動団体自ら探す努力をしていただきたい。市としても把握している空き施設等の情報提供に努めたい。



倭寇太鼓 富江バラモン会

問 ふるさと納税のさらなる推進を

答 しっかりとPRしたい



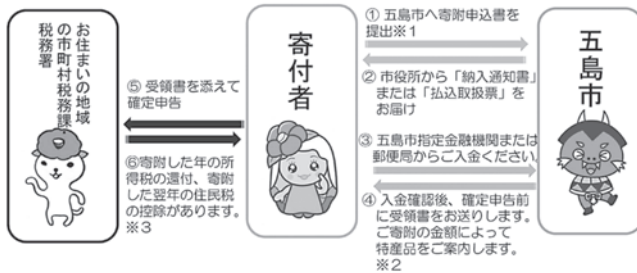
宗 藤人議員

質問 ふるさと納税を増やすために、五島の知名度アップを図るべきだと思うが、本市のふるさと納税の周知についての考えは。

答弁 ふるさと納税の制度や実績、これを財源として活用した事業の概要等を都市部で開催される郷土人会や心のふるさと市民への情報提供、ホームページや広報ごとうへの掲載など行っている。ふるさと納税は自主財源に乏しい本市にとって大変ありがたい財源であり、今後あらゆる機会を捉え、しっかりとPRしていきたい。

五島市ふるさと納税(寄附金)制度

「ふるさと納税」は、お住いの地域以外の応援したい自治体へ2,000円を超える寄附をした場合、寄附額に応じて所得税や個人住民税から一定額の控除が受けられる制度です。五島市では「ふるさとづくり寄附金」として取り扱っております。



※1 寄附申込書をメール・郵便・またはFAXにて五島市長官舎へご提出いただくか、五島市HPの寄附金申請WEBフォームから直接お申し込みください。
※2 1万円以上のご寄附をいただいた方へ五島市の特産品をお届けします。
※3 控除額の計算方法は「ふるさと納税による税金の軽減」項目をご覧ください。

ふるさと納税制度の概要

質問 ふるさと納税の活用と納税方法は。

答弁 本市の将来を担う子供たちを対象とした事業や重点プロジェクトなど、本市のふるさとづくりに資する各種事業への積極的な活用を図りたい。また、ふるさと納税の手続きについても、インターネットを通じてクレジットカード決済の導入を検討しており、利便性の向上に努め、ふるさと納税の一層の推進を図っていきたい。

問 本庁と支所との連携を

答 連携を図っており、支所で予算を必要とする場合、関係課が調整し予算措置を行っている



村岡 末男議員

質問 支所で対応が難しい場合、また、急を要する場合、本庁と支所との連携はどのようになっているのか。

答弁 支所については、市民生活課と地域振興課の二課体制としている。市民生活課では生活に密着した業務を行い、市民の利便性を図っており、地域振興課では、地域のイベントや経済活動など支所地域の振興を行っている。支所と本庁との連携を図り、支所で事業を遂行するために予算を必要とする時、支所と本庁の関係課で調整し予算措置を行っている。

不法投棄の現状と今後の対策は

質問 不法投棄が後を絶たないが、不法投棄者が断定された場合、どのような措置をするのか。また、

その対策は。

答弁 六月の環境月間には、五島保健所、警察署と合同で管内の監視パトロールを実施し、山林に投棄されたごみから投棄者を特定し、五島警察署の厳重注意とあわせて、ごみの撤去が命じられた。ごみのポイ捨てなどの不法投棄は、法律で罰則が定められており、犯罪であることを広報誌・看板の設置などで啓発を行っている。また、現在実施されている様々な清掃活動により多くの市民に参加してもらい、環境問題への意識を高めることによって不法投棄の防止につなげていきたい。



不法投棄の現状

問 男女共同参画の取り組み状況は

答 県の補助事業を活用して取り組んでいる



江川美津子 議員

質問 第二次男女共同参画基本計画策定にあたり、五島市男女共同参画審議会から、①計画推進体制の整備について②女性の人材の育成について③人材バンク登録制度の活用について④男性の育児休業等促進について以上四項目に対し提言がなされているが、その取り組み状況は。

答弁 県の補助事業を活用しながら啓発事業に取り組んでいる。人材バンクの基礎となる人材発掘は少しずつ前進しているものの、計

画推進体制の整備、女性の人材育成及び男性の育児休業などの促進については、形の見えるところまでは到達できていないため、今後粘り強く啓発を続けていき、計画書に掲げる数値に近づけるよう努力していきたい。

定住促進対策の強化を

質問 Uターンの強化のために、空き家の情報発信や費用の一部補助、受入体制を整備するなど、定住促進対策の強化を検討しては。

答弁 これまで市に総合窓口を設置し、移住希望者への相談対応や島外への情報発信に取り組んできた。今後さらに人口減少の進行が予測されることから、本市における最重要課題である人口減少問題について、十月十七日に対策本部を設置し、Uターンの促進を含

む移住・定住対策に関して検討を行っており、具体策を取りまとめている。



第2次五島市男女共同参画計画



問 地域コミュニティ及び協働のまちづくりの取り組みは

答 住民主体のまちづくり協議会を市内全域に拡大していきたい



相良 尚彦 議員

質問 地域コミュニティ及び協働のまちづくりについての取り組みは。また、五島市まちづくりファンドの設立はできないのか。

答弁 地域の絆再生事業として、市内十三の公民館単位で設置する住民主体のまちづくり協議会に対し、市の各種補助金を集約し、一括して交付したいと考えている。これは市民力を結集し、地域の特性を活かしたまちづくりを推進する取り組みであり、市内全域に拡大していきたい。

また、一括交付金の財源には過



高知市の「地域コミュニティの再構築について」

疎債ソフト分を充当する予定だが、今後ふるさと納税とも絡めて検討していきたい。

有害鳥獣対策の取り組みは

質問 有害鳥獣対策の取り組みとその効果は。

答弁 イノシシ対策は防護、すみ分け、捕獲の対策をバランス良く行うことが重要であり、ワイヤーメッシュ柵で生息域の拡散防止を図りながら、捕獲圧を高める対策として、捕獲経費補助や狩猟免許経費の一部助成、箱わなの無償貸与を行っている。効果については、拡散防止柵により、農地への侵入を防止し、農作物被害は発生していない。

健康づくりポイント制度の導入を

質問 日本一健康なしまを目指した健康づくりポイント制度の導入を。

答弁 平成二十五年度より町内会の協力を得て、地域ぐるみで受診率向上に取り組んでおり、現行制度の三年間を検証し、検討していきたい。

五島市の特別交付税について

(単位千円)

年度	要望額	要望項目の カネミ対策額	実際に交付 された額
平成19	1,800,000	14,500	1,686,026
平成20	1,850,000	17,890	1,771,436
平成21	1,900,000	17,567	1,822,958
平成22	2,000,000	15,713	1,923,172
平成23	2,000,000	26,054	1,924,471
平成24	2,100,000	17,852	1,961,061
平成25	2,300,000	24,204	2,082,304

問 カネミ油症医療費に係る、特別交付税を国保会計に繰り入れるべきでは

答 今年度予算については三月補正で調整したい



草野 久幸 議員

質問 カネミ油症医療費立替などの対策で要望し交付された交付税は、国保会計に繰り入れるべきでは。

答弁 特別交付税は、補助金等と違い、あくまでも一般財源であること、特別交付税に関する要望書

の個別要望項目ごとに措置される額が確定できないこと等の理由により繰り入れていないが、財政事情等も考慮しながら判断して、今年度予算については三月補正で調整していきたい。

特別交付税の要望項目とは

質問 特別交付税に関する要望書の項目とは。

答弁 特別交付税に関する要望書の項目については、本市の行政需要を理解してもらうため、交付税に算入される基礎数値のうち、多額の経費を要しているもの、離島ならではのもの、本市特有の事情で経費を要しているもの等をピックアップしている。カネミ油症対策の経費についても、平成十九年度から重点要望項目に追加している。

ならではのもの、本市特有の事情で経費を要しているもの等をピックアップしている。カネミ油症対策の経費についても、平成十九年度から重点要望項目に追加している。



問 子育て支援の充実を

答 子育て世帯の経済的負担軽減を図りたい



木口 利光 議員

質問 本市の子供たちが激減している。子育て支援充実を急ぐべきでは。

答弁 少子化対策として、乳幼児福祉医療費助成事業の対象者を現在の就学前からさらに拡充し、子育て世帯の経済的負担軽減を図りたい。また、多子世帯の保育料軽減についても少子化対策に有効であり、現在準備を進めている。



乳幼児健診の様子（歯科検診）

人口減少対策は

質問 本市の人口減少問題への戦略本部づくりはどのように進める

のか。

答弁 人口減少問題は本市における最重要課題であり、庁内横断的な組織が必要であるため、十月十七日に市長を本部長とし、副市長、教育長、各課長等で「人口減少問題対策本部」を立ち上げた。

さらに施策検討を行う係長級職員による「少子化・長寿命化対策」「移住・定住対策」「観光・経済活性化対策」「まちづくり」のワーキンググループを立ち上げ、事業の検討を進めている。今後、経済団体等にも参画していただきオール五島市で中長期的な対策を取り込んだ「五島市総合戦略」を策定していきたい。

質問 空き家バンク設立と移住者への住宅リフォーム助成を人口減少対策として進められないか。

答弁 空き家が多い支所地区を中心に、空き家バンク制度を創設し、物件の登録と利用促進を図りたい。移住者への住宅リフォーム支援については、空き家バンクを活用し、国や県の制度や他自治体の事例も参考に検討していきたい。

問 空き家条例の執行状況は

答 指導書等の行政手続きを行っている



三浦 直人 議員

質問 昨年の十月から本市の空き家条例は施行されているが、その後の執行状況は。

答弁 空き家条例に基づき、これまで位置情報や老朽度判定作業を進めながら、道路沿いの緊急性の高い物件を優先して、管理者の特定と指導書等の行政手続きを行った。

現時点で指導書交付が五十三件、そのうち勧告が三件、命令及び公表に至った案件が一件となっている。

また七月の台風八号接近に伴い、最低限度の応急措置である緊急安全代行措置一件を講じてきた。

これまでに指導通知により管理者自らが、解体し是正された物件が五件となっており、引き続き空き家の適正な管理の啓発に努めている。

福江小学校校舎改築工事の工期延長に対する市の対応は

質問 福江小学校校舎改築工事の工期が延長されたことに対する市の対応は。

答弁 早期完成に向けて、現場へ出向き受注者へ要請するとともに、関係課を通じて強く指導を行った。

完成が遅れ、新校舎で学ぶことを楽しみにしている子どもたちや学校及び保護者へ対し、大変申し訳なく思っており、一日でも早く完成させ、冬休みには引っ越しを済ませ、三学期からは新校舎で学べるよう、受注者へ強く要請している。子どもたちの夢をしっかりとかなえるため、一生懸命に取り組んでいきたい。



福江小学校の新校舎

問 国体による経済効果は

答 国体準備に着手した二十一年度からの経済波及効果は十六億九千万円



中村 康弘 議員

質問 本市で開催された剣道競技では、地元選手の活躍もあり、四種目ともに優勝するなど、四十五年ぶり二回目の天皇杯を長崎県が獲得したが、国体による本市の経済効果は。

答弁 開催期間中の観光消費は一億七百万円、国体準備に着手した二十一年度からの経済波及効果は十六億九千万円と推計している。



長崎国体 剣道競技の様子

安全安心なまちづくりを

質問 防犯、監視カメラの設置状況と今後の設置計画は。また国道三百八十四号線の平山ブロックからJA本店間の歩道改良を。

答弁 防犯カメラの設置状況は、福江港ターミナル及びジェットフォイル桟橋など三カ所に設置している。交通安全協会、五島警察署と連携しており、今後は中心市街地の主要交差点へ設置するよう準備を進めていると聞いている。

また、国道三百八十四号線のビジネスホテルいりえ付近からJAごとう本店までは、車道舗装とバリアフリー対応の歩道改良を行い、年度内の完成を目指していると伺っている。

認定こども園の動向は

質問 福江地区、富江地区の認定こども園の今後の動向は。

答弁 平成二十七年に福江地区の双葉幼稚園が幼稚園型認定こども園へ移行予定であり、平成二十八年度は富江地区に幼保連携型認定こども園を新設予定している。

問 商店街の振興は

答 課題の解決にまでは
至っていない



網本 定信 議員

質問 人口減少の中で、経済の活性化は厳しくなる一方だが、商店街の振興策は。

答弁 富江地区と三井楽地区では五島市商工会が県や市の補助事業を活用し、それぞれの商店街でイベントを行い、賑わいをみせていた。また、市としては、富江地区の買い物弱者対策として、平成十五年から商店街巡回バスを運行している団体に対し支援を行っているが、空き店舗の解消など課題の解決にまでは至っていない。

移住、定住、交流人口の 増加対策を

質問 人口減少の抑制策として、島外からの移住、定住、交流人口の増加対策を。

答弁 移住、定住対策は、人口減少が著しい本市において取り組む

べき重要課題の一つであると認識している。都市部での移住相談会や島外への情報発信、移住希望者への短期滞在住宅の無料貸与、漁業研修生への生活費の補助や農業研修制度の紹介などを行った。さらに対策を強化するため、五島市人口問題減少対策本部において検討を行い、具体策を取りまとめていきたい。

交流人口の増加対策については、各種スポーツイベントの開催や、スポーツ合宿の誘致、修学旅行等の誘致、海外からの旅行団体を対象とした外国人観光客の誘致、ふるさと市民限定の旅行商品やしまとく通貨付旅行商品の造成及び広告宣伝委託といった施策を実施していきたい。また、民泊についても、市内各地での受け皿づくりや積極的な誘致活動を展開し、今後とも市役所や観光協会を中心に、官民一体となって、交流人口増加に向けて取り組んでいきたい。



県内唯一のフルマラソンが行われる「五島つばきマラソン」

委員会 分科会 の審査

総務委員会



問 歳入の国庫補助金において、社会保障・税番号制度システム整備費が計上されているが、その内容は。

答 番号制度とは、国民一人一人に番号をつけて社会保障をきめ細やかに行うとともに、税金・年金・医療等の暮らしに身近な手続きを簡素化し、国民の利便性・公平性を高めることを目的としている。平成二十八年一月から個人番号カードが交付される予定であり、それに間に合うように関係システムの改修を行う必要がある。今回計上されているのは、平成二十六年年度のシステム改修費に対する国からの補助金であり、住民基本台帳・税・障がい者福祉や児童福祉・国保・介護保険などのシステム改修及び他の自治体とやり取りをするための中間サーバー構築に対する補助金である。

問 歳入の国庫補助金において、がんばる地域交付金が計上されているが、その対象事業は。

答 がんばる地域交付金は、平成二十五年度の国の一次補正で予算が成立しており、国の補助事業での市の負担を軽減する目的で創設されている。本市の交付限度額は、二億四千五百九十三万八千円であり、対象事業については、二十五年度の国の補正予算にあげられた国庫補助事業、単独事業、使用廃止された公共施設の撤去に係る事業となっている。今回は二次離島向けのケーブルテレビ受信アンテナの予備機購入、たかな・きゅうりの塩蔵施設の整備事業、岐宿地区の統合小学校建設事業の実施設計、旧玉之浦中学校解体、富江地区の防火水槽解体、市宮越首住宅解体、市の道路整備事業、側溝の整備事業等ががんばる地域交付金を充当する予定である。

文教厚生
委員会

問 五島市国民健康保険条例の一部改正により被保険者が受け取る出産育児一時金の額の変更は。

答 今回の改正により、出産育児一時金の支給基本額が三十九万円から四十万四千円に引き上げられ、産科医療補償制度に加入している分娩機関での分娩に係る出産育児一時金の加算額の基準が三万円から一万六千円に引き下げられており、全体の出産育児一時金四十二万円は変わらない。ただし、産科医療保障制度の掛金が三万円から一万六千円に変わったことで、産科医療保障制度に加入している病院での分娩費用が、これまで三十九万円であったものが四十万四千円になる。

問 富江町育英会では、富江地区の子どもたちのための寄附金が主であったわけであるが、育英会解散時、五島市全体とするにあたって、異論はなかったのか。

答 解散をする時に富江町育英会では理事会、代議員会等で、寄附

行為の規則を改正し、奨学資金の貸与を実施している類似の団体へ寄附するということを決定し、五島市に寄附することになっている。理事会等の中では、貸与者を特定するような意見もあったと聞いている。

経済土木
委員会

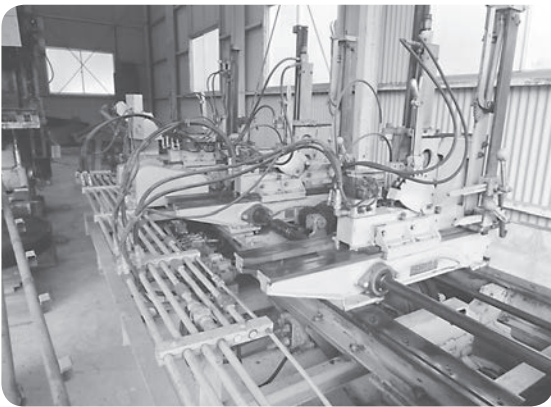
問 五島森林組合が導入を予定している製材機について①製造後十八年を経過した中古であるが、新品との性能や価格面などの比較検討は。②二十年程度の使用が可能なのか。③メーカー代理店も含めたメンテナンスなどのサポート体制と部品の製造は。

答 ①機械の構造や操作方法は同じであり、作業能力はオペレーターの技術次第である。また、価格については、新品が約三千万円であるのに対し、現在検討している中古は七百二十万円であるが、中古の相場としては妥当な価格である。②購入予定の製材機は、これまできちんと使用・管理されてきており、納入することになれば、

再度オーバーホールを行い、新品同様に整備することである。

さらに、現地でも確認したが状態もいのように感じられた。③購入後のメンテナンスへの対応は可能であり、現在も部品は製造されているとのことであった。また、森林組合とメーカー代理店との協議において、購入した場合、一年後には保守点検を行うこととしており、その後については、森林組合が必要に応じて専門家によるメンテナンスを行うこととしている。

また、森林組合独自の取り組みとして、作業員の育成や日々の点検などの管理を行ない、長く稼働



五島森林組合が導入を予定している製材機

するよう努めるとのことである。

問 五島食肉センターについて、①PED発生で何月の処理頭数に影響がでたのか。また、処理頭数の増頭への取り組みは。②来年度の指定管理料の見込は。

答 ①十月、十一月に影響が出ている。また、処理頭数の増頭へ向けた取り組みについては、指定管理者が本年十二月に一度、養豚農家に対し五島食肉センターへの出荷要請を行ったと伺っている。

②来年度の指定管理料については、現在、作業を進めているが、市、指定管理者及び農協が一体となり、牛・豚の処理頭数の増加を図っていきたい。

要望 指定管理者に対して、稼働率向上へ向け、さらに指導を行っていただきたい。また、来年度の指定管理料については、早い段階で試算してもらいたい。



議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果	議案番号	事 件 名	議決結果
議案第116号	平成25年度五島市一般会計歳入歳出決算	認 定	議案第157号	営農研修施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第117号	平成25年度五島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第158号	多目的集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第118号	平成25年度五島市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第159号	繁敷地区集会施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第119号	平成25年度五島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第160号	漁村センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第120号	平成25年度五島市診療所事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第161号	公有水面埋立てに関する意見について	原案可決
議案第121号	平成25年度五島市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第162号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第122号	平成25年度五島市大浜財産区特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第163号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第123号	平成25年度五島市本山財産区特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第164号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第124号	平成25年度五島市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第165号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第125号	平成25年度五島市公設小売市場事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第166号	あらたに生じた土地の確認及び町の区域の変更について	原案可決
議案第126号	平成25年度五島市港湾整備事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第167号	あらたに生じた土地の確認及び字の区域の変更について	原案可決
議案第127号	平成25年度五島市交通船事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第168号	土地所有権確認及び登記請求事件に関する訴えの提起の変更について	原案可決
議案第128号	平成25年度五島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算	認 定	議案第169号	市道路線の認定について	原案可決
議案第129号	平成25年度五島市水道事業会計剰余金の処分及び決算	原案可決 及び認定	議案第170号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第138号	五島市いじめ問題調査委員会条例の制定について	原案可決	議案第171号	平成26年度五島市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第139号	五島市 I T 振興センター条例の廃止について	原案可決	議案第172号	平成26年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第140号	五島市消防長及び消防署長の資格に関する条例の制定について	原案可決	議案第173号	平成26年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第141号	五島市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	議案第174号	平成26年度五島市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第142号	五島市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第175号	五島市職員の給与に関する条例及び五島市一般職の任期付職員 の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第143号	五島市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の 指定に係る入所定員等に関する条例の一部改正について	原案可決	議案第176号	平成26年度五島市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第144号	五島市介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員 及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための 効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について	原案可決	議案第177号	平成26年度五島市国民健康保険事業特別会計補正予 算（第3号）	原案可決
議案第145号	五島市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設 置者が遵守すべき基準に関する条例の制定について	原案可決	議案第178号	平成26年度五島市介護保険事業特別会計補正予算 （第2号）	原案可決
議案第146号	五島市奨学基金条例の制定について	原案可決	議案第179号	平成26年度五島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第147号	五島市奨学資金貸与条例の一部改正について	原案可決	議案第180号	平成26年度五島市診療所事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第148号	五島市道路占用料徴収条例の一部改正について	原案可決	議案第181号	平成26年度五島市簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第149号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	議案第182号	平成26年度五島市交通船事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第150号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	請願第5号	T P P 交渉並びに農協改革に関する請願	採 択
議案第151号	工事請負契約の締結について	原案可決	請願第7号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する請願	採 択
議案第152号	住民センターの指定管理者の指定について	原案可決	請願第8号	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	採 択
議案第153号	児童館の指定管理者の指定について	原案可決	議会議案第10号	T P P 交渉並びに農協改革に関する意見書	原案可決
議案第154号	五島市立養護老人ホーム松寿園の指定管理者の指定 について	原案可決	議会議案第11号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求 める意見書	原案可決
議案第155号	福江陶芸館の指定管理者の指定について	原案可決	議会議案第12号	年金削減の中止と最低保障年金制度の創設を求める意見書	原案可決
議案第156号	富江構造改善センターの指定管理者の指定について	原案可決	議会議案第13号	堂崎天主堂の国指定重要文化財指定を求める意見書	原案可決

贊否一覽表

○：賛成、×：反対

[illegible]

議会に対する市民アンケートの結果

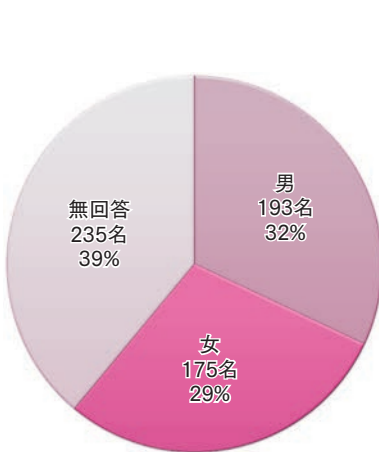
五島市議会では、議会活性化のための第一歩として、市民の皆様が現在の市議会の姿をどのように感じ、議会に何を期待しているのかをお聞きするため、平成26年9月1日から9月30日にかけて、市民アンケートを実施しました。

このたび、集計結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

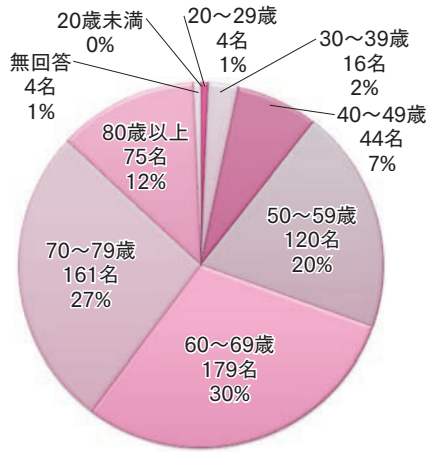
【調査対象】	町内会加入全世帯（16,643世帯）
【調査期間】	平成26年9月1日～9月30日
【回収数（率）】	603通（3.6%）

以下、【問1】から【問10】の設問に対する回答を集計し、円グラフにしたものを掲載します。

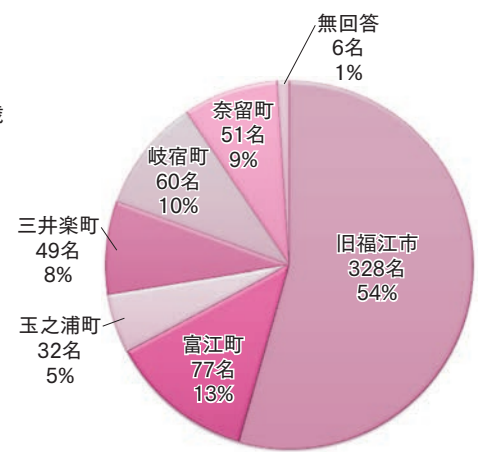
【問1】あなたの性別は。



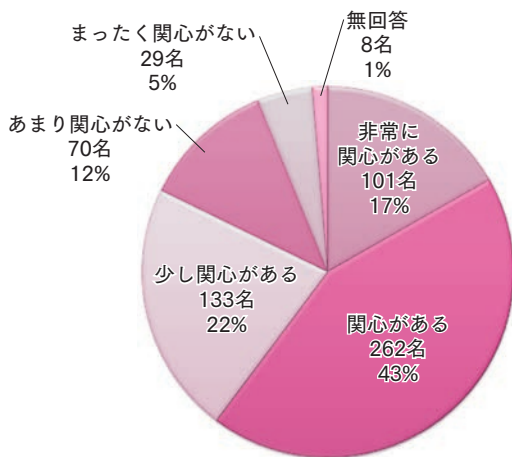
【問1】あなたの年齢は。



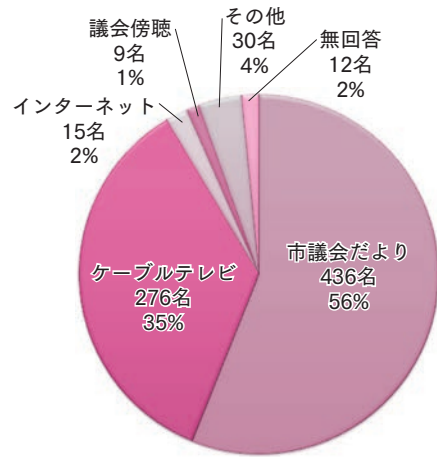
【問2】あなたのお住まいは。



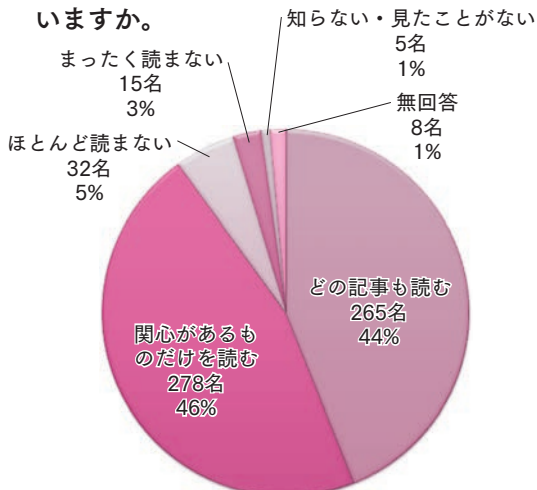
【問3】あなたは、市議会に関心がありますか。



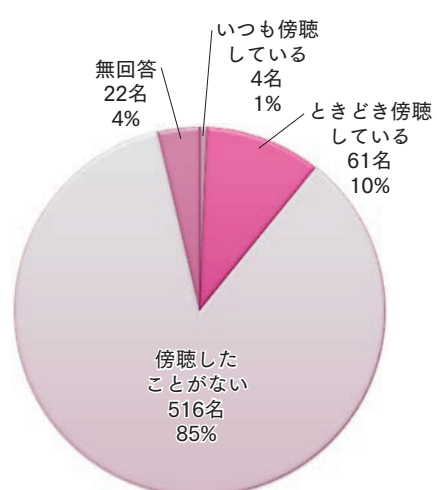
【問4】あなたは、議会の活動状況や情報を主に何によって知りますか。



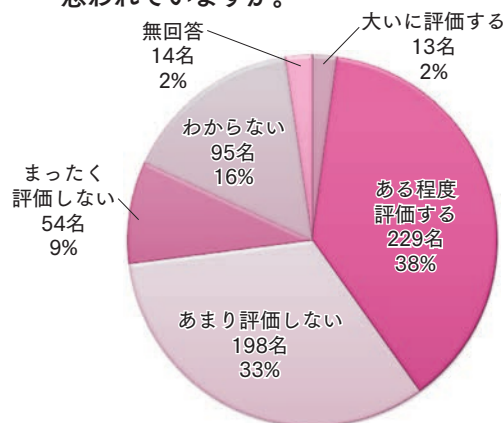
【問5】あなたは、「市議会だよりごとう」を読んでいますか。



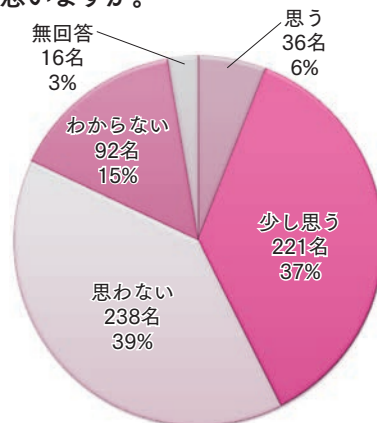
【問6】あなたは、議会傍聴をされたことがありますか。



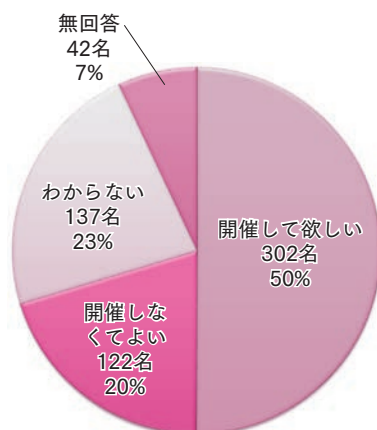
【問7】あなたは、現在の五島市議会の動きをどのように
思われていますか。



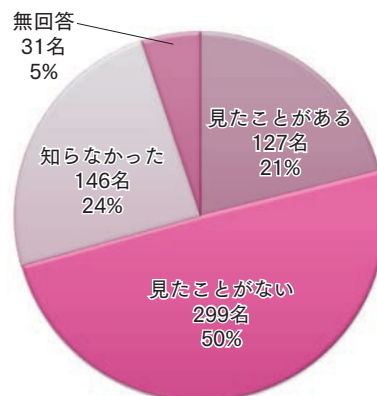
【問8】あなたの意見や市民の声が市議会に反映されている
と思いますか。



【問9】議会報告会の開催について、どのようにお考えで
すか。



【問10】五島市議会は平成22年6月定例会より、インター
ネットによる本会議の中継と録画配信を行っています。このことについてお答えください。



【議会に対する意見、要望】

アンケートの中で、議会の動きをどのように評価されますか、また、市民の声が議会に反映されていると思いますかなど市議会へのご意見、ご要望をお聞きしたところ、593項目に及ぶ数多くのご意見、ご要望が寄せられました。その主な内容について、記述いたします。

まず1点目は、議会活動全般に対する市民の皆様の感想ですが、議員が地域や市民の意見・要望を十分取り上げていない。議員が能力不足、熱意不足だ。議会外での活動をもっと積極的に。重要施策への取り組みが足りない。という議員の能力及び熱意不足へのご意見や苦言を数多く頂きました。

また、市民との交流を問う意見として、議員は選挙の時しか顔が見えない。個人レベルでも、また団体に対しても市民と議会との対話の場が無い。議会報告会があればという市民との意見交換の不足に対する要望も数多く寄せられました。その他、議員定数、報酬の削減を求める意見も見られました。

次に2点目として、市議会での一般質問について、質問内容のレベルが低い。市の将来像など建設的な提案をしてほしい。議論の白熱化が必要。一部の人しか質問しない。同じ内容の質問が多い。また、質問態度が良くないなどの大変厳しい意見が寄せられました。

3点目は、政策に対する提言・要望について、最も多くの市民の方が指摘した問題が、人口減少対策の重要性です。雇用対策の重要性、特に若者の雇用創出対策を数多くの方が指摘されました。また、子育て支援強化やUターン支援策に対する声も聞かれました。

次に多かったのは、高齢者への福祉充実策や介護保険料などへの心配の声ですが、一方で元気な高齢者を増やすための健康、寿命を延ばす事の重要性に触れた意見も聞かれました。

第3の意見として、五島市の今後の財政運営に対する心配の声。その対策の重要性を指摘する意見も多く頂きました。

【おわりに】

この度のアンケート調査で、市民の皆様が「議会をどのように感じておられるのか」「議会に何を求めておられるのか」を知ることができました。

今後はこのアンケート調査結果を真摯に受け止め、五島市議会が市民から信頼される議会であるために市議会の活性化と改革に努めてまいりたいと思います。

なお、市民アンケートの要望にもありました市議会議員定数につきましては、平成26年3月定例議会の「五島市議会議員定数の一部を改正する条例」により、議員定数を22名から20名に削減し、次の五島市議会一般選挙より施行することになっております。

最後に、本アンケート調査にご理解とご協力を頂き、貴重なご意見をお寄せ頂きました市民の皆様に、厚くお礼申し上げます。

会派による行政調査を実施

平成二十六年十月、十一月に創政会、研政会、心清会、公明会、市民の風、政策研究会7、椿会、日本共産党、五島市安全安心なまちづくりの会が行政調査を実施した。

創政会・研政会

◎新・省エネルギー推進事業（北海道稚内市）

私たちは千kw発電機五十七基という国内最大規模の風力発電施設である(株)ユースエナジー宗谷が運営する「宗谷岬ウインドファーム」を視察した。

市内にはこの施設を含め七十四基が立地しており、平成二十九年開設予定の発電施設を加えれば、市内需要を超える百十%の発電が可能になるとのことであった。今後の課題は送電網整備であり、経済産業省の特定風力集中整備地区の指定を受けての実証事業を推進している。

◎農業振興策―菜の花による活性化―（北海道滝川市）

菜種生産は農薬散布の手間がなく小麦の前後作物として導入が可能であることから作付が拡大している。五月下旬から六月上旬に見頃を迎える菜の花畑を観光資源と

して「菜の花まつり」を開催しており、来場者数は二十五年が五万四千人、二十六年が七万五千人と着実に増加し、北海道を代表する花のイベントに成長しつつある。

◎乳・幼児の子育て支援（北海道三笠市）

三笠市は炭鉱とともに栄え、昭和三十五年の最盛期には人口六万三千三百六十人を数えたが、平成二十六年の人口は九千五百四十人に及んでいる。

この急速な人口減少に歯止めをかけるため、日本一の子育て支援と移住者受け入れによる人口減少対策を平成二十

三年度より実施している。地元

商店街の商品券交付による保育所の保育料、幼稚園授業料の実質無料化や紙おむつ購入費の一部助成、小学校



給食費無料化事業、また若者定住者家賃助成事業など各種住宅支援事業を実施している。

心清会・公明会・市民の風

◎地域コミュニティ再構築事業（高知県高知市）

高知市に住む市民にとって、緊急の課題とされている問題の一つに、南海地震が発生した際の助け合い・支え合いによる避難・救助活動への備えをどのように進めていくのかという問題があり、その中での地域コミュニティ再構築の検討が行われた。

高齢化や住民の地域への関心の低下、ライフスタイルの多様化を考えると、古き良き地域を懐かしがり、昔ながらの有縁社会を現在に取り戻すことは相当に困難であるとも思われる。

かつての地域コミュニティの姿に戻すのではなく、それぞれの地域の特性にあった新しい地域コミュニティのあり方を、地域と行政がともに創造していくことも重要だろう。



地域コミュニティ再構築が今なぜ必要なのか、その意義や再構築のための新たな仕組みの提案を地域で活動している方々に的確に伝達するのも、時間のかかる作業だろう。

五島市安全安心なまちづくりの会

◎ICT教育・小中高一貫教育について（茨城県つくば市）、伝統的な施設を利用した図書館について（東京都北区）、地方議員セミナー（東京都）

各調査、研修等ともに期待以上の成果をいただいた。当市へもそれぞれのテーマで反映されるべく提言をしたい。

つくば市教育関係の「日本一をめざして」の取り組みは、目を見張るものが多く、再訪の価値大である。来年平成二十七年十一月「つくば市 学校ICT教育四十周年記念大会」案内も紹介いただいた。当市とも共有する、有意義な授業公開、実践発表をできれば視察・研修したい。

北区図書館は、すべてにおいて、コンセプトどおりでうらやましい限りである。また、内容のすばらしさとともに、アンバサダー、ドナルド・キーンコーナー所蔵物に

も感激、感嘆した。人・成長は環境に左右される。当市の図書館建築を急いでもらいたいものだ。

セミナーはズバリ議員に対するセミナーであり、大いなる収穫と再認識と当市議会の立ち遅れを感じた。資料を添付しますが、議員各位の参考になればと思う。

政策研究会7・樁会・日本共産党

◎離島における人口増及び交流人口対策及び地産地消推進条例制定と経緯について（佐渡市）

「人口減少対策プロジェクトチーム」が設置されており、市役所内政策提言のシンクタンクとして位置付け、垣根を越えた建設的な議論と提案の場としている。「何とかしなくては！」その危機感は、具体化した政策においても我が五島市との違いが歴然としていた。

若者の受け入れや、女性の起業家支援、地産地消制度による生産者の庭先集荷事業などは、農家の高齢者対策にも通じる新しい手法であろう。

佐渡市では年間約一千人の人口が減、一人の年間の経済効果を百八万円とし、それに見合う以上の交流人口経済効果目指した事業として取り組む必要性を語っていま

した。交流人口五十四万人、まだまだ増加するものと思われました。

◎頑張る農家支援事業の取り組みについて（新潟市）

「目的」経営規模に関わらず、意欲を持つ農家に所得向上に向けた規模拡大や農産物の付加価値向上のための支援を行い、食と花の田園型政令指定都市の実現を目指すこと。

「特色」水稲、園芸作物、畜産の生産振興、農産物販売、六次産業化に向けた取り組みを、ソフト、ハード両面から総合的な支援が行える事業メニューを揃える。

新潟市の「がんばる農家支援」については、国や県の補助メニューにのらない小さな農家には市が支援していて、農家にきめ細かな支援対応がなされていた。

市は、六次産業に更に六項目の農業関連産業を創出し、十二次産業化に向けて取り組みはじめ、市長自ら各課へ政策提示する。そこには、市長の強いリーダーシップと敢行に取り組む職員他に負けないとの意志と姿勢がみられた。



編集後記

向春の候、市民の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。私たちが、広報委員会になってから八回の発行を行いました。現委員での最後の議会だよりになりましたが、その間、読みやすく内容のある作成にこだわってきました。

議案議決の結果、各委員会の報告、ページの四段への変

更等、行いました。予算の都合上、ページ数に制限があり内容等に苦慮しました。これからも、充実した内容でお届けしたいと思っております。さて、今年の五島市は、最大のテーマである人口減少問題に取り組んでまい



議会広報特別委員会

委員長	木口 利光	委員	林 睦浩
副委員長	明石 博文	委員	中村 康弘
委員	野瀬 健一	委員	野茂勇 司臣

ります。雇用の確保、新規事業など、今まで以上に、力を合わせていかなければなりません。一人一人の意識を高め、新たな知恵、新たな住民組織が、重要になってくると思います。

市民皆様と共に考え、協力し合い魅力ある五島、まちづくりに頑張ります。（明石 博文）

三月定例会は三月四日（水）開会予定です。

インターネット議会中継

本会議の生中継、平成22年6月定例会以降の本会議の映像を見ることができます。

<http://www.goto-city.stream.jfit.co.jp/>